

市議会だより

はまだ

元気いっぱい運動会

Vol.39

平成27年(2015年)11月1日発行



石見幼稚園



原井幼稚園



長浜幼稚園



美川幼稚園

9月定例会 主な記事

18人の議員が論戦(個人一般質問)	6
議会報告会の執行部回答	16

平成27年9月定例会

平成27年9月浜田市議会定例会が8月31日に招集され、9月30日までの31日間の会期で開かれました。今定例会で提出された議案は42件、請願2件、陳情4件でした。委員会審査の様子は、2ページから4ページに、採決の結果は5ページに掲載しています。また、個人一般質問には、18人が立ちました。論戦の様子は6ページから掲載しています。



マイナンバー制度の周知と 情報漏えいの市民不安を質疑!

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会に付託された議案11件、同意5件、陳情3件について審査を行いました。

「浜田市個人情報保護条例の一部を改正する条例について」は、国のマイナンバー制度の改正に伴う条例改正で、市民への周知の状況や情報漏えいなど市民不安に対する質疑がありました。国も神経を使い、外部と繋がついていないパソコンを

使用するなどを原則に、また番号を符号に置き換えて暗号化して行政機関内だけで閉じたネットの中で照会するので、二重三重の保護措置がとられているとの答弁がありました。

また、制度の普及に対する進捗状況や数値目標の設定などの質疑があり、住基カードの普及率程度に達すると思うとの答弁がありました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。



高規格救急自動車

次に、「財産の取得について(高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材)」は地元購入しない理由や入札の考え方に対する質疑があり、装備の関係や車種状況から指

名競争を行っているとの答弁がありました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。続いて、支所の防災機能強化のため、各支所に消防職員を配置する「浜田市職員定数条例の一部を改正する条例について」は、将来に大量退職の年があり、ベテラン職員が退職後の消火力減退を懸念する質疑があり、何年か前から計画的に採用することは必要である。また、定数増の10人は各支所1人づつの計4人、三隅出張所へ6人を計画的に採用するとの答弁がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。その他の8件の議案について審議し、積極的な質疑が展開され、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。また、人権擁護委員候補の推薦についての同意5件、及び陳情3件についても全会一致で可決すべきものと決しました。

マイナンバー制度の対応 その手数料を改正

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会に付託された「浜田市手数料条例等の一部を改正する等の条例について」1件の審査を行いました。

この10月からマイナンバー制度、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等が施行され、通知カード及び個人番号カードの交付が開始されます。これに伴い住民基本台帳カードの交付が終了となることに伴い、所要の改正が行われるものです。

委員会の質疑で次のようなことが明らかになりました。通知カードはマ

イナンバーの番号、住所、氏名、性別、生年月日などの記載があり、雇用保険関係などで事業所に提出する必要があり、大切に保管することが大切です。

個人番号カードは顔写真付きの公的身分証明書となります。再交付の手数料は通知カードで500円、個人番号カードで800円となり、市の条例で定められます。

ICチップに記録される情報は、住所、氏名、性別、生年月日など4情報のほか電子個人認証であり、税、年金、預金口座などの情報は記録されないこととなります。

また、消費税引き上げに伴う軽減税率の還付への活用は検討されている段階であることなどが、明らかにされました。



通知カード

歴史的価値を有する 木造施設に質疑集中!

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会に付託された議案6件、請願1件について審査を行いました。

「浜田市木田暮らしの学校条例の制定について」は、想定する指定管理者の運営形態や指定管理料と収益性、この魅力ある施設を宿泊ができるように取組むべきなど、複数の質疑がありました。

執行部からは、想定している指定管理者は木田地区振興協議会で今後法人化して対応する。施設は地域の集会所でもある

が、色んな企画をして自主的な事業をするうえで、土日の対応や飲食の提供も考えている。管理料は年間95万円で一般管理費相当分である。収益については、合宿やキャンプ等の貸館、イベントの体験料や参加料等でやっていく計画で、農業体験は既に今年スタートしている。宿泊は、旭温泉があり連携していくが、交流事業のなかで可能性について旭支所と充分連携して、市として考えていくとの答弁がありました。



歴史的価値を有する木造施設
(旧木田小学校)

「浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について」は、譲渡価格や助成等の質疑に、耐用年数が30年を過ぎ入居者の意

向も踏まえて、譲渡価格の7割を助成し、最終的に個人負担金額は約56万円が3戸、約78万円が1戸、残り1戸は退居されるので現状のまま売却するとの答弁がありました。

議案6件については、いずれも全会一致で可決すべきものと決しました。他に、「TPP交渉に関する請願について」は、それぞれ意見を出し合ったあと採決を行い、賛成少数で不採決とすべきものと決しました。



編成や執行状況を 厳しくチェック!

— 予算決算委員会 —

予算決算委員会に審査を付託された平成27年度一般会計および各特別会計の補正予算議案4件と、平成26年度一般会計、各特別会計および水道・工業用水道会計の歳入歳出決算認定議案13件について、審査を行いました。

9月11日は予算議案の審査を行い、述べ35件の質疑があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

リハビリテーションカレッジ島根支援事業、浜田市商業活性化支援事業や、広浜鉄道今福線観光資源活用事業について質

疑が集中したところです。

9月16日からの3日間は決算認定議案の審査を行い、延べ155件の質疑を実施しました。

主な質疑として、総務文教委員会関係では、決算概況や財政指標についての質疑、人件費の捉え方、市債残高や基金の運用についての質疑など、財政運営全般に係る質疑が多数ありました。また、元気な浜田梓事業の執行状況の低さの理由と今後の取組について問う質疑がありました。

福祉環境委員会関係の審査のうち一般会計では、保育料の滞納繰越分の整理について、不納欠損額が急激に増えた理由を問う質疑や、保育士修学資金貸付事業についての質疑があったところです。

水道事業会計では、旧相生水源解体工事について、工業用水道事業会計については、人件費の取扱についての質疑がありました。

産業建設委員会関係の審査では、観光協会助成事業についてや、「元気

な浜田」農産物振興プロジェクトについて、三隅自治区産業再生事業についてそれぞれ執行部に詳細な答弁を求めたところでした。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、付帯意見2件を付したうえで全て認定すべきものと決しました。

(付帯意見)
1 適正な予算執行および事業効果等の検証を実施されたい。
2 債権管理を徹底された。



審議の様子

今後も、予算編成や予算執行が、効率的かつ効果的に実行され、市民生活に活かされているか等チェックできるよう、全委員で取組んでいきます。

議案に対して議員が 討論を行いました

議案第1号 平成26年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について

【反対討論】

森谷 公昭 議員
職員が相談した弁護士からの回答が文書で保管されていない。一般文書と同様、公文書として保存されるべきである。

議案第67号 浜田市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

【反対討論】

西村 健 議員
生涯変わらない一つの番号で個人情報を管理し「名寄せ」「突合」することは、情報漏えいの危険から免れない。

【賛成討論】

野藤 薫 議員
法律制定による市条

例の改正で、社会保障の手続きや制度の充実、行政の効率化など市民にとってメリットがある。

議案第86号 平成27年度浜田市一般会計補正予算（第2号）

【反対討論】

森谷 公昭 議員
市内で県大生殺害事件があったのに、中心部から10km以上離れた金城に県大生アパートを作るのは危険だと思う。

【反対討論】

西村 健 議員
リハビリカレッジ島根支援事業は、経営戦略の全体像が見えず、個別の支援策も分析が甘く、その効果に疑問がある。

可

決

事

業

新規“加工場整備助成事業”

弥栄自治区の農業振興の継続的な
産品開発や加工技術を伝承!

ー共同可能な保健所営業許可施設の設置ー

○設計管理料	16万4千円
○工事請負費	549万8千円
○食品営業許可手数料	8万7千円
○備品購入費	20万6千円
合計	(一般財源) 595万5千円

新規“はまだ暮らし応援事業”

移住と定住の促進を目指す!

ーシングルペアレント受入専属相談員配置とPRツール作成ー

○専属相談員賃金	83万円
○定住促進動画作成業務委託料	350万円
○PRツール作成業務委託料	300万円
合計	(国県支出金) 1,676万円

新規“農林漁業後継者育成支援事業”

担い手不足の解消のため
独身者の出会いの場の創出!
新規就農者の技術向上をはかる先進地
視察を通し、担い手確保を目指す!

○婚活ツアー委託料(募集45人)	299万3千円
○担い手協議会負担金	84万円
合計	(国県支出金) 383万3千円

新規

“リハビリテーションカレッジ島根支援事業”

学生獲得競争の激化で
入学生確保対策の費用を補助!

○国家試験合格率向上対策補助	130万円
○実習費補助	732万円
合計	(地域振興基金) 862万円

平成27年9月定例会での議案等の賛否の公開(本会議)

		賛成	反対
認定第1号	平成26年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について 反対：森谷	22	1
認定第2号	平成26年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第3号	平成26年度浜田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第4号	平成26年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第5号	平成26年度浜田市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第6号	平成26年度浜田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第7号	平成26年度浜田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第8号	平成26年度浜田市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第9号	平成26年度浜田市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第10号	平成26年度浜田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第11号	平成26年度浜田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	23	0
認定第12号	平成26年度浜田市水道事業会計決算認定について 反対：森谷、澁谷	21	2
認定第13号	平成26年度浜田市工業用水道事業会計決算認定について 反対：森谷	22	1
議案第67号	浜田市個人情報保護条例の一部を改正する条例について 反対：小川、笹田、西村、江角	19	4
議案第68号	浜田市職員定数条例の一部を改正する条例について 反対：澁谷	22	1
議案第69号	浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	23	0
議案第70号	浜田市手数料条例等の一部を改正する等の条例について	23	0
議案第71号	浜田市立小中学校条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第72号	独立行政法人森林総合研究所事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第73号	浜田市木田暮らしの学校条例の制定について	23	0
議案第74号	浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第75号	浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第76号	浜田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第77号	財産の取得について（高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材） 反対：森谷	22	1
議案第78号	財産の取得について（消防ポンプ車）	23	0
議案第79号	工事請負契約の締結について（浜田市立弥栄小学校屋内運動場改築に伴う建築主体工事）	23	0
議案第80号	市道路線の廃止について（下来原59号線外）	23	0
議案第81号	市道路線の認定について（下来原59号線外）	23	0
議案第82号	浜田市過疎地域自立促進計画の変更について	23	0
議案第83号	美又辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	23	0
議案第84号	弥畝辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	23	0
議案第85号	市町村建設計画（新市まちづくり計画）の変更について	23	0
議案第86号	平成27年度浜田市一般会計補正予算（第2号） 反対：森谷、西村	21	2
議案第87号	平成27年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第88号	平成27年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第89号	平成27年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計補正予算（第1号）	23	0
同意 第6号～10号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
請願第7号	TPP交渉に関する請願について 賛成：小川、笹田、西村、江角	4	19
請願第9号	後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続を求める意見書の提出について【継続審査】	23	0
発議第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	23	0

反対理由の詳細については市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→会議日程・結果→賛否の公開

請願・陳情の審査経過及び結果 平成27年9月定例会審査分

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した経過と結果
請願	後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続を求める意見書の提出について	島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助 様	福祉環境委員会 (継続審査)
請願	TPP交渉に関する請願について	島根県農民運動連合会 代表者 長谷川敏郎 様	産業建設委員会 (不採択)
陳情	ふるさとドキュメンタリー映画作成に関する陳情	和田 一隆 様 佐々木兼憲 様	総務文教委員会 (採択)
陳情	ノモンハン事件の戦没者慰霊祭に関する陳情	ノモンハンを語り継ぐ会 会長 坂本 文江 様 他1名	福祉環境委員会 (継続審査)
陳情	ことばやコミュニケーションの指導が必要な子どもたちに関する陳情	浜田ことばを育てる親の会 会長 沖原由美子 様 他3名	総務文教委員会 (採択)
陳情	人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める陳情	在日本大韓国民国民団 島根県地方本部 団 長 金 吾男 様	総務文教委員会 (採択)

個人一般質問 18名が論戦

質問 未来の浜田っ子のため、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・部活動の外



ラジオ体操で健全な浜田っ子

質問 子どもたちの夏休みのラジオ体操、プール開放活動が衰退している。地域社会とのつながりを深める貴重な行事であり、学校行事の一環として対策が必要では？

教育部長 両活動は、子どもたちの健康増進、集団のなかで社会性を身につける貴重な機会であり、継続した取組となるよう働きかける。



道下 文男 議員

夏休みのラジオ体操・プール開放活動強化を積極的に推進する

答 社会教育向上・地域活性化へ積極的に推進する



未来の浜田っ子のため特別支援教育の拡充を!!

質問 部指導員配置などの拡充が必要では？

教育部長 複雑化・困難化する生徒指導上の課題や特別支援教育は、県の事業により対応している。こうした支援の必要性は、今後大きくなると考えているが、市独自では困難であり、国・県へ制度の充実を要望している。

その他の質問

- 学力向上対策
- 結婚支援の強化
- 多子世帯の支援
- U・ターン対策

質問 他県と比べ浜田市は「ごみの分別が複雑すぎる」と言われる。原因

消防長 負傷者数と搬送者数の情報が混乱したせいで、実際には島根ドクヘリ要請は不要だった。

後の「広島へ飛ばせる」との申し出を断った。矛盾しているがなぜか？

質問 浜田道の20人死傷事故で、重傷者2名は搬送手配済みであったにもかかわらず島根ドクヘリを呼んで断られた。その

総務部長 食卓料のみで宿泊料の支出はない。

質問 市長東京出張後の横浜の自宅泊に経費の支払いがあるが問題では？

質問 市長と関係部署が判断した。

質問 市長と関係部署が判断した。

質問 前日に突然市長の家賃補助の理由を「市長が認めれば良い」に変更したが、誰の判断か？

質問 前日に突然市長の家賃補助の理由を「市長が認めれば良い」に変更したが、誰の判断か？



森谷 公昭 議員

一般質問の回答を議会の前日にした理由は？

答 市長と関係部署が検討し前日の説明にした



市長宿舍周辺



焼却場



ドクヘリ

質問 市民生活部長 昨年、市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

質問 市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

質問 市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

質問 市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

質問 市民生活部長 昨年、市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

質問 市民生活部長 昨年、市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

質問 市民生活部長 昨年、市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

質問 市民生活部長 昨年、市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

質問 市民生活部長 昨年、市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

質問 市民生活部長 昨年、市民生活部長 昨年の廃プラ混焼実験の結果を問う。

RCSへの支援、 根本的対策が必要では？



西村 健 議員
答 市の考えを伝える方法を
 検討する

質問 リハビリカレッジ
 島根（RCS）の経営状
 況について問う。

三隅支所長 昨年度、学
 生数は216人と若干回
 復したが、単年度収支は
 大きな赤字である。

質問 今回提案されてい
 るRCSに対する新たな
 支援策について問う。

三隅支所長 国家試験合
 格率向上のための学習シ
 ステム改修費および学生
 の実習費負担免除のため
 の補助である。

質問 わずか1年の実績
 にもとづく財政支援は性
 急過ぎるのではないか。
三隅支所長 3年後でな
 いと正確な評価はできな
 いと考えている。

質問 県内他校の学生の
 財政負担の比較では、松
 江・出雲に比べて劣る状
 況にはなく、実習費免除
 の効果は薄いと考えるが



リハビリテーションカレッジ島根

どうか。

三隅支所長 学生に対す
 る経済的支援は必要と考
 えるが同時に、学校の特
 長や強みをつくり、情報
 発信をしていくことが大
 切だと考えている。

質問 RCSの経営にもつ
 と深く関わり、根本的対
 策を講じる必要があるの
 ではないか。

三隅自治区長 評議委員
 として運営に関わってい
 るが、今後、経営に対す
 る市の考えを伝える方法
 仕組を考えてみたい。

観光振興は浜田の魅力向上に 尽きるのでは？



西田 清久 議員
答 新たな切り口による
 交流人口の拡大を図る

質問 観光振興の将来は、
 新たなハード施設やイベ
 ントに頼った観光客誘致
 が、それとも広浜鉄道や
 ヨシタケコーヒー、旧木
 田小学校の活用など歴史
 的本物の価値、魅力を向
 上させていくことが大切
 なのか見解を問う。

市長 浜田市の観光は、
 従来型の観光ではなく、
 多くの観光資源とともに
 「食」の魅力向上に努め、
 浜田に来ていただき、泊
 まっていただく仕組を作っ
 ていく。さらに各種シン
 ポジウムやイベントの開
 催、合宿やコンベンショ
 ン誘致とともに、豊かな
 自然や歴史・文化を活か
 した都市農山漁村体験交
 流（ツーリズム）による
 取組を推進していく。

質問 地方創生（地方版
 総合戦略）で人口の自然
 減に歯止めをかけるには



歴史に学ぶ地域間交流

少子化対策しかないと思
 うが、その対策について
 問う。

地域政策部長 子どもを
 産み育てることが期待さ
 れる若い世代の人口を確
 保して、少子化対策を充
 実させていく。そのため
 に雇用の場の確保、定住
 の促進、子どもを安心し
 て産み育てる環境を作っ
 ていく。

その他の質問
 ○竹林の整備について
 ○温泉入湯税の考え方

次期浜田市総合振興計画等の 策定は？



飛野 弘二 議員
答 人口減少対策は
 最重要課題！

質問 人口減少対策プロ
 ジェクトを設定するとあ
 るがリーダー、メンバー、
 手法などすでに想定して
 いるのか問う。

市長 地方版総合戦略つ
 くりを進めているが、こ
 れを契機に、人口減少へ
 の対策をこれまで以上に
 重点的・最優先で取組む。

地域政策部長 具体的な
 個々の施策すべてについ
 て、リーダー、メンバー、
 手法などを想定する者で
 はないが、担当部署を中
 心に関係機関や市民と協
 働していく。なお、本市
 では市長をトップとして、
 部長級の職員で構成する
 「人口減少問題対策本部」
 を設置しているので全庁
 を上げて取組む。

質問 農業者の所得増大
 のため、振興作物で組合
 わせ作物を選定中とある
 が、方法、時期、選定者

を問う。

産業経済部長 今年度中
 に候補作物のなかから、
 生産者の意見を伺い、
 JA、島根県等と協力し
 ながら選定、振興を進め
 る。



組合わせ作物（一例）
 そば・大豆・いちじく等

質問 和紙がユネスコ再
 登録を契機に楮生産管理、
 加工、手漉ぎ、伝統継承、
 開発、販売、渉外、ブー
 タン交流事業などを一貫
 した部門の新設が重要と
 考えるが取組を問う。
産業経済部長 特化した
 部門の新設は難しい。

県大の地元入学者

0人が示す課題は？



岡本 正友 議員
答 小中学生の学力向上と
総合対策事業に取組む

質問 県大浜田キャンパスの本年度の地元高校の入学者が0人である状況は、魅力がないのか学力がないのか看過できない大きな問題であると考えます。新学部増設を要望する市長としてこの状況について問う。

市長 地元入学者がいなかった状況は、地域の人材育成の点からも、非常に残念である。入試状況は、出願者数・受験者数とも増加しており、魅力ある大学と認識している。

質問 この度の状況に学力不足が原因と考えるが、教育長の所見を問う。

教育長 非常に残念に思う。県内推薦入学の枠がなくなつたことや出願期間の変更などが要因と思う。小中学生の学力を高めること、中高連携によるこれから求められるB



県大浜田キャンパス

問題の学力の育成について意識統一を図り、学力向上総合対策事業をはじめ諸事業に取組みたい。

質問 子ども・子育て支援新制度の問題点に保育料算定がある。所得税から市民税への変更により、子どもが多いほど保育料が値上がり多子世帯に大きな負担。対応を問う。

健康福祉部長 今回経過措置の保育料算定を行う。多子世帯への経済的支援は重要である。拡充を国に強く要望する。

浜田漁港の水揚高

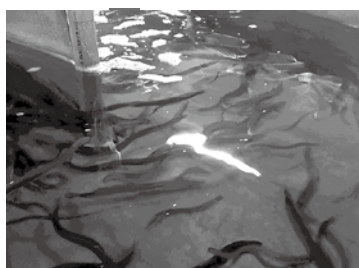
100億円は不可能では？



笹田 卓 議員
答 目標の達成に向けて
取組む

質問 このままでは10年後、浜田漁港水揚高100億円には届かない。目標達成額を見直すか、または新たな水産振興計画が必要では？

産業経済部長 目標額は見直さない。今後は養殖も研究し、目標額の達成に向けて取組む。



養殖の可能性も期待！

質問 浜田市野球場の老朽化が進行、石見神楽と融合させた最新鋭の野球場を建設するべきでは？

市長 県立野球場の可能性も含め、検討する。



市民全員を観光大使に！

質問 観光戦略には市民の協力が不可欠では？

市長 個人への支援は行政がすべきではない。引き続き交流人口の拡大を進める。



最新鋭の野球場の整備を！

移動販売の持続可能な

仕組み作りは？



佐々木豊治 議員
答 有益な事業とするため
経営状況など把握する

質問 買い物弱者対策としての移動販売の取組について、今年度から事業者の運営に対する助成もはじまったが、その状況と持続可能な事業の仕組み作りについて問う。

産業経済部長 食料品や日用品など幅広い商品を取り扱う移動販売業者への運営支援として、燃料費や車検費用など年間20万円以上になる事業者に対し定額補助を実施するもので申請中の業者もある。福祉の観点から、有益な事業として継続させるため、事業者の経営状況の把握や利用者の意見も聞きながら、持続可能な仕組み作りを取組む必要があると考える。

質問 有権者が投票しやすい環境を整備し、投票率の向上を図っていくことは喫緊の課題であるが、

車の運転ができなくなり、投票所に出向けない高齢者が近年増えつつある。車を借り上げ、投票所として巡回してはどうかと思うが対応を問う。

選管委員長 車の運転が困難な高齢者の投票については、県内各地での検討課題であり、委員会としても対応しなければならぬ問題と認識している。ご提案の件は一つの有効な手段と考える。

その他の質問
○空き家対策について



移動販売での買物風景

どうする原井幼・美川小・給食センターは！



答 真剣に取組みたい

牛尾 昭 議員

質問 原井幼・石見幼の統合新園との複合型施設建設決定は、27年度の早い時期に方針決定と聞いているがいつなのか聞つたい。
教育長 保護者や、陳情者の意思を尊重し決定したい。



原井幼稚園の統合新園はいつ？

質問 地元が要望した美川幼・美川小・浜田四中の一体型校舎の建築は、難しいが、美川小は老朽化が著しく優先順位が高いとの答申だがいつ建設するのか聞つたい。
教育長 来年、統合審議会を開き決定したい。



老朽化が著しい美川小学校

質問 給食センター統合の市方針を聞つたい。
教育部長 公共施設再配置計画と併せ決定する。
質問 地産地消の観点から現施設を残し、大規模改修時に再検討しては？
教育部長 地産地消推進は、市政の重要な課題であり、検討したい。
質問 歴史を活かした町づくりの観点から、残すべき価値のある物を歴史館として建設し観光の目玉とし、財源にふるさと寄附を当ててはどうか聞つたい。
市長 是非、検討したい。

浜田市の魅力づくり、無電柱化はできるか？



答 駅前での整備計画はあるが整備時期は未定

野藤 薫 議員

質問 まちなかの無電柱化を聞つたい。
都市建設部長 市役所周辺国道9号線や駅前周辺が整備されている。現在駅前交差点から道分山を越え堀江自転車までの計画はあるが、具体的な整備時期は立てていない。

質問 商店街の魅力づくりを聞つたい。
産業経済部長 既存店舗のシヨップインシヨップは低コストでの創業の実現や来店機会の増加など事業者間の相乗効果がある。関係機関と地域の実情に応じた施策を検討する。商店街の地域課題解決のためのクラウドファンディングについて、ストーリー性や実現可能性も含め関係者と協議する。
質問 市内公園の健康遊具について聞つたい。
都市建設部長 市内には



緑地にある健康遊具

長浜の宝幢寺山公園と旧原井小学校跡の県営住宅緑地にある。今後の設置計画はないが、高齢化を見据え検討する。
質問 消防本部三署体制実施後について聞つたい。
消防長 署長を配置した事により、各署の指揮命令系統が確立され、出動隊の連携が強まった。全体としての活動能力の向上と隊員のスキルアップが図られ、消防力の向上と職員の意識の向上に繋がると思っている。

元気な浜田づくりは総合振興計画へ包含を！



答 ロードマップは残して進捗管理する

江角 敏和 議員

質問 3つの計画づくりや方針の位置づけは？
地域政策部長 総合振興計画は最上位計画で、将来像やまちづくりの総合的な計画。来年度から10年間の基本構想と6年間の前期基本計画を示すもの。まち・ひと・しごと創生総合戦略は、2060年の人口ビジョンと、5年間の人口減少対策の取組を総合振興計画から抽出して示すもの。元気な浜田づくりのロードマップは、市長の選挙公約や施政方針に掲げたもので、いつ頃までに実施するかを示している。今後、総合振興計画との整合性をはかる。

質問 総合振興計画へ元気な浜田づくりを包含したらどうか？
地域政策部長 方向性は盛り込むが、ロードマップは残して進捗管理する。



子育て・雇用施策なくして人口増はなし

質問 瀬戸ヶ島の活用方針や浜田城周辺整備事業の示し方の考えは？
地域政策部長 見直し案やたたき台を12月議会までに議員等へ示したい。
質問 総合戦略・人口減少対策は、国が少子化の対策や雇用に関わる施策を打ち出さないと自治体間の人口の奪い合いに終わるのでは？
地域政策部長 そのような考えも踏まえた戦略にする。

第3子以降の保育料は、 無料にすべきだ！



澁谷 幹雄 議員

答 国も検討しており、その必要性は理解する

質問 本場に「子どもが地域の宝」なら、浜田市の意味として税金を投入して子育て支援に力を入れるべきだ。先進市は、出産準備金や学校給食の無料化にも取り組んでいる。浜田市も、まず、第3子以降の保育料は無料にすべきではないか？

健康福祉部長 その必要性は十分理解している。保育士の待遇改善のためには、運営補助金を増やすべきでは？

健康福祉部長 その必要性も理解している。

質問 陸上競技場・野球場・温水プール・サッカー場は、移転して新築すべきではないか？

教育長 東公園からの移転新築は必要だと考える。

質問 浜田漁港の水揚高の本年予測は49億円。大目標の半分以下だ。境港



地盤沈下のため、修繕しても、修繕しても、どうにもならない浜田市陸上競技場

水揚げの大型まき網船のアジヤサバを浜田港に水揚げしてもらおうには、魚価と供給の安定のため1万トン以上収容の保冷庫を建設すべきでは？

産業経済部長 境港との競争力の低下が減少の大きな理由だ。善処したい。

質問 7億円超えのふるさと寄附で、地元企業に活気があるのは素晴らしい。今後の戦略は？

財務部長 個々の商品力をアップし、さらに魅力的な品揃えにしたい。

浜田市火葬場整備計画は 延期するののか？



田畑 敬一 議員

答 統合への方向感を持つている

質問 浜田市火葬場は、平成30年3月末で廃止予定である。現状の取組は。

市長 市長就任後、市民や葬祭事業関係者から浜田市火葬場を残してほしいとの声がある。現時点では、浜田自治区の市民が理解をしているか疑問ではあるが、三隅火葬場へ統合する方向感を持つている。改めて市民に丁寧な説明し、理解を得る。

市民生活部長 平成30年3月で廃止することを前提として、指定管理の締結をしている。浜田市火葬場は、炉の全面入替から15年経過しており、平均的な耐用火葬体数は、一炉あたり、2500体であるが、一炉あたり3300体を超えている。

質問 火葬場整備計画を延期するののか。

市民生活部長 現段階で



三隅火葬場

は、明言できない。

質問 火葬場整備計画については以前、葬祭関係者等との意見交換が必要ではないかと提言したが。

市民生活部長 意見交換は実施していない。当局の対応が甘かったと反省している。

質問 火葬場整備計画ができないのなら、他の行財政改革はできるののか。

総務部長 行革は70項目あり、全てできないとは考えていない。

若い人の定着に向けた 施策は大胆に！



荻谷 英夫 議員

答 提案に添うよう検討したい

質問 県立大学への地元入学者の確保策を問う。

地域政策部長 地元からの入学者は県内就職、人口流出抑制につながり、大学と連携し地元出身学生の確保を進めたい。

質問 高校・専門学校・大学を通し支援する専門部署設置について問う。

総務部長 県立大学は地域政策部が担当し、他は健康福祉部、教育委員会、総務部などに分かれており、提案の専門部署設置について検討したい。

質問 専門学校への就労支援助成の考えを問う。

健康福祉部長 地元就職を支援した専門学校への補助金を交付している先進例もあり研究したい。

質問 地域包括支援センターの体制について問う。

健康福祉部長 平成28年4月支所にサブセンター



職業人を育てる専門学校リハビリテーションカレッジの実習

を設置し、保健師1名採用、主任ケアマネージャー育成などを進め、サブセンターの業務内容と人員配置を検討したい。

質問 介護予防事業の市民主体の体制づくりについて問う。

健康福祉部長 サロンコーディネーターによりサロンの参加を促し、地域生活支援コーディネーターが中心となり事業者、地域に働きかけ、まちづくり総合交付金も活用した体制整備を進めたい。

元気な浜田はどうなったら 体感できるのか？



答 気持ちであり、
数字で表せない

足立 豪 議員

質問 市長は元気な浜田づくりに取組んでいるが、市民はどうしたらそれを体感することができるのかを問う。

市長 元気の気は気持ちの気であり、全てを数字で表すことはできない。例えば新聞記事で浜田市の記事が多くなることもひとつの体感だと考える。

質問 人それぞれ感じ方は違うものであり、指標でそれを感じる市民もおられる。今後少しずつでも指標を設定する気はあるかどうか問う。

市長 一つの指標で浜田全体の元気を示すのは難しい。検討はしてみるが、難しい問題である。

質問 現在までに目標数値を達成または達成に近づいているものがあれば、それが何かを問う。

市長 市長に就任してか

らまだ一年半であり、まだ道半ばといったところだと思っている。

質問 元気な浜田づくりの目標数値は、今後いつまでに何を達成できるのか、それを示すスケジュールがあるのか、それも含めた「浜田市総合振興計画」となるのかを問う。

地域政策部長 指標を明確にするのは困難であるが、新しい「浜田市総合振興計画」10年後の浜田市の人口や出生数を明確にすることとしている。



元気な浜田を市民は体感したい！

集落草刈り対応が 難しくなるが市の対策は？



答 集落での対応路線は
可能な限り継続を願う

串崎 利行 議員

質問 草刈り報償費は、1kmで1万円。限界集落等では、草刈りが難しくなるが、市の対応を問う。

都市建設部長 人口減少や高齢化により、自治会等による作業ができなくなっている。すべての要望は無理だが、可能な限り対応していく。

質問 業者委託すれば、1km当たりの入札金額を問う。

都市建設部長 平均すると、1km当たり約27万円。

質問 鳥獣対策の専門職員を、各支所に1名配置するべきと、昨年12月議会でお願いがしたが、その後の状況を問う。

産業経済部長 2名の嘱託職員を予算化し、うち1名を採用している。

質問 草刈り報償費は、1kmで1万円。限界集落等では、草刈りが難しくなるが、市の対応を問う。

都市建設部長 人口減少や高齢化により、自治会等による作業ができなくなっている。すべての要望は無理だが、可能な限り対応していく。

質問 業者委託すれば、1km当たりの入札金額を問う。

都市建設部長 平均すると、1km当たり約27万円。

質問 鳥獣対策の専門職員を、各支所に1名配置するべきと、昨年12月議会でお願いがしたが、その後の状況を問う。

産業経済部長 2名の嘱託職員を予算化し、うち1名を採用している。



限界集落の草刈り風景（弥栄）

子ども達と先生を守る 教育行政は？



答 子ども、教職員が
萎縮しない環境を維持する

小川 稔宏 議員

質問 教育への政治介入に対する教育委員会としてできる役割を問う。

教育長 市教委単独では現実的に少ない。制度改革等への意見は、地方六団体等を通じ要望できる。

質問 長すぎる労働時間の違法性と改善策を問う。

教育部長 給特法により勤務態様の特殊性から残業の位置付けはない。業務の効率化、人的支援等で軽減を図る。

質問 過重負担の調査報告物は減らせないか問う。

教育部長 市独自の調査物は抑えているが、国、県の部分が増えている。

質問 設置について問う。

都市建設部長 増改築時の負担増や地価下落もあり慎重な検討が必要。安全な避難所設置は課題だが堅牢な建物の2階等への避難も薦める。

質問 避難行動要支援者個別計画の作成主体と避難訓練について問う。

健康福祉部長 自主防災組織等である。訓練は重要で連携し取組みたい。

その他の質問 ○ベトナム人実習生の保護とサポートについて



小学校運動会

地域資源のお宝を活かした 観光コース化は！



答 官民連携して環境整備や
受け皿対策が必要

布施 賢司 議員

質問 鉄道遺構、広浜鉄

道今福線に再び光をあて、地域活性化や観光コース化を図るための様々な活用策を考えることを目的にしたシンポジウムや体験型見学会の成果を問う。

市長 全国から鉄道マニアや多くの市民の方が参加され、関心の高さが伺える結果で今後の観光コース作成にあたり、確かな手応えを感じた。本シンポジウムは、沢山ある地域資源「お宝」の活かし方の試金石となる。

質問 見どころ観光コースの環境整備と地元住民との協力関係を問う。

産業経済部長 必要な安全対策・案内対策はした。草刈りや現地案内は地元自治会に頼っているが、今後は官民連携して、環境整備や受け皿対策の組

織設立に向け支援する。

質問 浜田藩が「再興を期して自焼退城」してから来年で150年の節目、記念事業の実施を問う。

教育長 特に川越（初雁温知念）津山（美作濱田会）に相談して、文化講演会等の事業を検討する。

質問 瀬戸ヶ島埋立地の海水飛翔軽減対策は、馬島防波堤の延伸が必要だ。

産業経済部長 県と協議。

その他の質問

○通行障害になる樹木の把握と処理への取組
○夏まつり個人協賛席



新設された今福線マップの看板

議会改革の 進捗状況!

一 議会改革推進 特別委員会 一

昨年9月定例会で行った中間報告以降、これまでに議論した主なものとしては、次のとおりです。

「通年議会」について、緊急事態への議会対応の迅速化、専決処分の解消等を図るため、議会改革を推進してきた浜田市議会として、通年を通して議会活動が必要な制度の導入に取組む必要がある、という結論を議長へ報告しました。

「IT化の推進」について、タブレット端末の使用は、議会活動での利活用や、ペーパーレス化の推進に繋がり、経費削減などの利点も大きいもの

がある点を確認しました。「議員報酬」について、さらなる議会の活性化や、次代を担う若い人たちが議員を目指すための環境づくり等々を踏まえ、「合併前に復元」「正副委員長へのアップ」「復元には反対」という意見もあり、対応について議長に報告しました。

その他「議会基本条例の検証」「議員間の自由討議」「議場開放」等についても議論しました。

議論・検討し結論を得たものを、議会運営委員会へ報告して「完了」とせず、絶えず議員相互において進捗の状況へ注意を払っていき、実現へ向け準備が整ったところから実施することも当該委員会で確認しました。



中間報告の様子

自治区制度の 新たなスタート

一 自治区制度等行財政 改革推進特別委員会 一

昨年9月の中間報告以降も引き続き自治区制度について、議論を行ってきました。27年6月に第14回目の委員会で「浜田市自治区設置条例及び浜田市副市長条例の一部を改正する条例について」を賛成多数で可決しました。そして、6月議会で委員長報告を行い、その後、本会議で審議があり提案どおり賛成多数で可決されました。

第15回では、「浜田市行財政改革実施計画平成26年度報告・平成27年度計画について」などの協議を行い、委員からは個別の各項目の年度別評価の方法について質疑があ

り、執行部より指摘部分については検討しながら方向を決めていきたいと答弁がありました。

第16回では、「平成28年度以降の地域振興基金の運用方法について」の協議をし、委員からは28年から31年の予算なのか、4年間で使い切るという考え方ideいいのかと質疑があり、執行部から、4年間で使うように考えていると答弁がありました。

平成27年6月議会で、自治区制度の結審を迎えたところですが、これだけ自治区が終わったわけではなく、これから新たなスタートとします。今後、この自治区制度等行財政改革推進特別委員会は自治区制度についての受け皿として進めていきたいと思っております。



中間報告の様子

公民連携による 地域おこしを学ぶ

— 総務文教委員会 —

7月13日から3日間、岩手県紫波町、青森県弘前市を視察しました。

紫波町では「オガールプロジェクト」を視察、19回のまちづくり座談会や意見交換会を経て紫波町公民連携基本計画を策定、10年塩漬けのプロジェクトが動き出しました。当初143億円の計画でしたが「無駄な物は造らない」と40億円に圧縮、その陰には首長のリーダーシップとUターンされた岡崎正信氏（旧建設省出身）の努力がありました。公民連携（PPP）で設立したオガール紫波櫛やPFI事業のシティホール、官民複合施設のおガールプラザな

どで事業計画を立て、金融機関から資金を調達、地元産品の販売所も併設し来店客も多いということでした。紫波町では公民連携に基づいた住民の合意形成や民間資金の調達など、学ぶことが多くありました。



紫波マルシェ

青森県弘前市では、「ひろさき恋活力レッジ」を視察。男女とも結婚願望はあるが相手が見つからない、そこで自らの魅力をアップし男女のコミュニケーションションがスムーズになるようにとはじまりました。気軽に参加しやすいよう講師の役割が重要だと聞きました。その他、個人市民税の1%相当額を財源に「市民参加型まちづくり1%システム」なども視察しました。

水産業の活性化! 養殖業の可能性を学ぶ

— 産業建設委員会 —

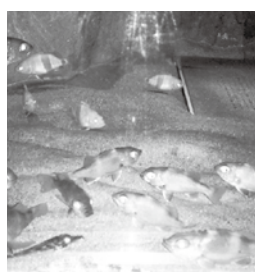
7月6日から3日間、新潟県新潟市、埼玉県川越市、神奈川県藤沢市を視察しました。

新潟市水族館「マリニア日本海」では、アカムツ（のどぐろ）を人口採卵から稚魚期まで育成することに世界で初めて成功し展示していると聞き、当市の基幹産業である漁業が100億を目標とするためにも、資源を健全に維持することも必要であり、今後、増養殖技術の開発が期待されることを受けて研修しました。今後、大量に稚魚を人工的に生産する飼育方法や、成魚までの飼育条件を把握できれば、資源管理への応用が期待できま

す。埼玉県川越市では、「歴史的な街並みを活かしたまちづくり」、川越藩と浜田藩の歴史的な繋がりを伺いました。

伝統的な建造物の保存・再生と共に周辺の街路を一体的に整備し、美しい街並み景観を実現されている。さらに、「蔵の町並み」を資源として集客イベントや観光拠点施設の整備を行い、商店街を復活させ、年間657万人の入込客があります。

また、川越藩は浜田藩主であった松平周防守家との繋がりがあり、その家臣を祖とする組織「初雁温知会」は、4年ごとに墓参され、来年はその年であり「浜田城自焼退城150年」であることも伝達し、さらに交流を深めていくことを確認しました。



のどぐろ稚魚育成展示

藤沢市では、地産地消推進計画について具体的な取組の考え方、組織や市民の関わり方などについて伺いました。

そして8月27日から2日間、岡山県岡山市、岡山理科大学（バイオ・応用化学科）と愛媛県南宇和郡愛南町、愛媛大学（南予水産研究センター）で、水産業の活性化のため養殖業は不可欠で、検討も早急に進めていかなくてはならない状況であつて、瀬戸ヶ島埋立地の利活用についても検討中であることから視察しました。

岡山理科大学では、山本准教授の、好適環境水による、陸上養殖の可能性について伺いました。好適環境水とは、淡水にわずかな濃度の電解質を加えてできる、淡水魚と海水魚がともに生育できる不思議な水で、この水を使った養殖業のメリットは、「安心安全」「成長が早い」「病気が発生しにくい」「場所を選ばない」「水をリサイクルできる」ため、耕作放棄地で車エビの養殖が可能と

まで言われ、中山間地域で「農漁業」ができる可能性を感じられる素晴らしい研究であると思います。



養殖 理大ウナギ

愛媛大学、南予水産研究センターでは、松原教授と後藤准教授により、クロマグロの資源枯渇が懸念されているなか、代替魚種として、「スマ」の完全養殖の研究を伺いました。最終的に「スマ」は海洋養殖であるため、水温が低い浜田では養殖は無理ですが、「みずいか」の卵から稚魚の養殖ができるヒントをいただきました。



スマの海洋養殖場

子育て支援及び 地域包括支援について

— 福祉環境委員会 —

6月29日から3日間、石川県加賀市、富山県南砺市、富山県富山市を視察しました。

加賀市では、若者の雇用の確保と子育てしやすい環境を作るため、妊娠から大学までの子育て支援や経済支援、仕事との両立支援、育児相談活動支援に区分して取組まれており、第3子の保育料無料化と、今年度10月から始まる18歳未満の医療費無料化は、子育て世帯の負担軽減となる素晴らしい取組だと感じました。

南砺市では、公立の病院と診療所は電子カルテで繋がっており、診療カードを共通化したこと

で市内のどの医療機関でも使えるようになりました。地域医療再生マイスター養成講座など住民参加型のシステム構築を全市的に取組み、「地域包括医療・ケア局」内の訪問看護ステーションは直営で、年中無休の24時間対応。市民にとって心強いと感じました。

富山市では、病院を退職した3人の看護師が子どもから高齢者まで、障がいのある無に関わらず受入れた、デイケアハウスの開所から始まった富山型「デイサービス」について、現場の様子をDVDで見せていただき感動しました。住み慣れた地域での支え合いによる取組は、今後の浜田市にとっても重要だと思いました。



視察の様子

市民参加型を目指して 議場でコンサート

— 議会広報広聴委員会 —

4月14日から3日間、

東京都日野市、小平市、神奈川県鎌倉市を視察しました。日野市では市民が議会にたいして無関心、行政運営や施策でも市民の無関心等があるため、議場で議会の初日にプチコンサートを開催し、議場にまず来ていただくことを目的に、議会の役割等必要性を理解する一つの事業であると説明を受けました。浜田市議会においても、市政チェック機能や市政への提案等の役割を、市民に理解を得るためにも、多くの方が定例会の時に、議場に足を運んでいただく取組は

重要であると感じました。小平市は、市民と議会との意見交換会については、4会場で、4常任委員会ごとにテーマ決めて実施し、その会場での意見を、議員が議会で政策提案をしている。議員個々のスキルアップに繋がっていると説明がありました。

鎌倉市は、「議員と語る！オープンミーティング」を会場ごとにテーマを決めて開催され、議会のホームページや議会だより、議員によるチラシ配布等で周知されていました。市民と、テーブルを囲み意見交換を行う場であり、大切なことと感じました。地域性の違いはあるが、本年10月に市内の公民館で実施する地域井戸端会で実践することになっています。



プチコンサートが
開催される議場

通年議会・タブレット端末の 活用について学ぶ!

— 議会改革推進特別委員会 —

6月22日から2日間、福岡県川崎町議会、福岡県篠栗町議会、山口県下関市議会を視察しました。

川崎町議会では、通年の会期について伺いました。緊急に開議請求できることはもちろん、議会が開議請求する場合も、招集告示手続きが不要なため、ただちに会議に臨むことができることや、本会議や委員会等の開催回数が増え、活動が活発になり、常任委員会の所管事務調査等の定期開催により、さらに充実した議会になることを確認しました。

篠栗町議会では、タブレット端末の活用について伺いました。導入する前は、開会の通知や委員会の開催通知などは郵送や職員が手渡しするなど、またFAXや電話が原則であったが、タブレット端末を導入することでペーパーレス化を推進し、職員の負担軽減が図れたことが大きいとのことでした。また、費用対効果も大切であるが、導入直後の初期投資は度外視して「開かれた議会」を目指しているとのことでした。

また、山口県下関市議会では、委員会活動その他について伺いました。今後、視察を通じて市議会の議会改革推進に活かしていきます。



視察の様子

行革の先進事例を学ぶ

一 自治区制度等行財政改革推進特別委員会 一

8月20日から2日間広島県三次市、兵庫県姫路市を視察しました。

三次市では行財政改革大綱で5つの柱、4つの挑戦を掲げ市民協働のまちづくりに取組んでいます。公共施設維持管理では、特に合併当時8ヶ所あった火葬場は、当面平

において、現在の質と量のまま公共施設を維持することは、将来世代に負担になるため、総合的かつ長期的な計画、管理活動し、「最適なストック量」と「最適な管理運営」を実現することとしています。

指定管理制度は、民間事業者の優れた経営ノウハウや技術を活用することにより経費削減、利用者のサービス向上が期待できるため、積極的に民間導入しています。外郭団体の指導調整については、要綱に基づき検証し、効率的な運営となるよう取組んでいます。

浜田市においても、行財政改革にスピードが求められているため、議会として、さらなる努力をしていきます。



視察の様子

平成27年5月26日付で、4名の議員から、森谷公昭議員に係る次の言動が政治倫理基準「品位又は名誉を損なう行為を慎み、その職務に関し不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと」に違反する疑いがあるとして、議長に審査請求がなされました。

●審査請求書の要旨

議会改革推進特別委員会で検討し、本会議や委員会における質疑や審議状況の動画ライブ配信及び録画配信を平成27年度以降に議会ホームページ等を使って配信することと決定しているが、当該議員のFacebookで、YouTubeに一般質問の映像が掲載されているのが発覚した。これについて議員が掲載したのか会議の場で確認をしたが、議員は否定をされた。これにより、映像の著作権者である浜田市が著作権法違反で告訴した。警察の捜査の結果、当該議員を著作権法違反の被疑者として特定した。その旨、執行部より報告を受けたことから、被疑者として特定された当該議員が、議会の委員会という公的な会議の場で自分は関与していないと発言されたことは、結果として事実と大きく違っている。

審査会は、6月1日から6回にわたり会議を開きました。関係者からの意見聴取等を行うとともに、審査要請のあった事項が政治倫理基準に違反するか否かについて慎重に審議を行いました。

出された意見は概ね2つに分かれました。

- ①議会できめたルールは守るべきである。
- ②疑惑をもたれた場合は、真摯に受け止め反省すべき。
- ③審査の過程で倫理上の疑惑は否定できない。
- ④意見が合わないからといって単独で行動をすることは慎むべき。
- ⑤2度目の審査は残念であり、疑惑をもたれることに対し反省し、謝罪をしてほしい。
- ⑥審査対象議員自ら疑惑を解明し、責任を明らかにする必要があるにも関わらず、審査会の出席に条件をつけたり、委員の中傷をするなどの行為は理解ができない。

一方で

- ①本人が配信していないと言っている以上、処分できないのでは。
- ②条例がいう「不正の疑惑を持たれるおそれのある行為」をしたのは、当該議員ではないと捉えざるを得ない。

といった意見がありました。

審査の結果、採決を行い、賛成委員多数により、審査対象議員の言動に、市民全体の奉仕者としてその品位又は名誉を損なう行為があり、政治倫理基準に違反すると結論を出し、議長に対し「今後、政治倫理基準に違反するような行為を行わないよう反省を求め、本会議の場で厳重注意」するよう求めました。

政治倫理審査会の結論は…本会議場で厳重注意
政治倫理審査会報告

5月の議会報告会で出された質問に対する市の回答

意見等	ふるさと納税について浜田市が大変評価されているがふるさと納税の収支はどうなっているのか、またどのように使われているのか。
回答	<p>平成26年度のふるさと納税は、件数で47,279件、金額で7億2,697万1,562円の寄附がありました。</p> <p>経費は約3億5,700万円で、内訳としましては、原価の特産品代は約3億1,500万円、PRなど業務委託料として約2,520万円、クレジット決済手数料や郵便代として約980万円、嘱託・臨時職員の賃金などで約530万円です。</p> <p>平成26年度は寄附の全額を、市の歳入として基金へ積み立て、平成25年度までに学校図書などの整備、石見神楽支援、美術館収蔵絵画額装事業などに寄附金約2,540万円を充当しています。</p>
意見等	畳ヶ浦は浜田市の観光のお宝である。瀬戸ヶ島等視野に入れ、上手に観光面で活かしていただきたい。
回答	<p>畳ヶ浦は、国の天然記念物であり、浜田市の代表的な観光地の一つであると認識しています。現在、地域資源の「お宝」の掘り起こしを行い、観光コースとして提案するとともに、その魅力を精査し、観光商品として活用できるよう取組を進めています。</p> <p>また、瀬戸ヶ島については、市において瀬戸ヶ島埋立地活用研究会を設け、今後の利活用について検討しています。</p> <p>今後も畳ヶ浦などの様々な観光資源を有効に活用していきます。</p>
意見等	シングルペアレント受入事業は、いい施策とは思いますが知らない土地に移住して来ても安心して働けるよう浜田の受入環境づくりに心がけ、決して後でがっかりすることのないようにする必要があります。お金で呼ぶのではなく人的支援を含めた環境づくりが大事である。
回答	<p>シングルペアレント受入事業においては、金銭的な支援の面が大きく取り上げられています。移住後の支援体制こそが重要であると考えているため、現在、夜間等を中心に安心して子どもを預けることができる仕組みや定住するための総合的な相談窓口となる専門相談員の設置など人的支援を中心に検討しています。</p> <p>今後も移住支援については、金銭的な支援に限らず、移住してこられる方が安心して暮らせるように、受入後の体制整備についてもさらに検討します。</p>
意見等	専売公社の跡地の利用はどうなっているのか。
回答	<p>浜田駅・浜田医療センター・松原小学校等に近接する市街地中心部の貴重な土地であることから一旦取得しますが、公共事業の代替地等の住宅用地や良好な商業系土地利用の誘導等、土地利用のコントロールが目的であり、市街地の賑わい創出に寄与する土地利用提案者等に最終的には売却する予定です。</p>

たくさん質問・要望等をいただきましたが紙面の都合上一部を掲載しています。
詳しくは市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→議会の取組→議会報告会

あとがき

さわやかな音色を奏でていた風鈴も、怠惰なアルジが仕舞いもしないものだから、物悲しい響きとなってここに届く季節となりました。

市民の皆さま、健やかに過ごしてでしょうか？

幸福の形は似通っているが、不幸の形はさまざまである、と申します。それだけに、悩みや心配事を抱えながら、人生を歩んでいかなければなりません。

浜田市議会は、市民の皆さまの幸福の実現、市政発展と住民福祉の向上のために存在しております。

今回がこのメンバーでの最後の広報紙です。年々歳々、見やすい紙面となるよう粉骨砕身努力することをお誓い申し上げます。

(記 澁谷 幹雄)

【編集委員】
田畑 敬二 委員長
笹田 卓 副委員長
足立 豪 委員
柳楽 真智子 委員
森谷 公昭 委員
野藤 薫 委員
布施 賢司 委員
岡本 正友 委員
澁谷 幹雄 委員
牛尾 昭 委員

★この議会だよりは1部あたり42・40円でできています。